

# 公開講演会

雪氷研究大会 (2008・東京)

先着300名・入場無料



## 「今、地球の雪と氷に 何が起きているのか？」

—地球を旅しながら、温暖化の影響を探ろう—

日時：平成20年9月27日(土) 13:00-16:00 (12:30開場)

場所：東京大学弥生講堂・一条ホール

(弥生キャンパス農学部正門横)

(東京都文京区弥生1-1-1 URL: <http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/index.html>)

現在、地球温暖化などによって、地球上の雪や氷、たとえば、南極やグリーンランドの氷床、北極海や南極海の海水、地球上広く分布する氷河、われわれにとっても身近な積雪、極域・山地の地中に存在する永久凍土、それらが現在縮小、消滅の危機にあるとされています。これらはマスコミでも大きく取り上げられていますが、一方、地球上には拡大している氷河もみられ、積雪が増えている地域があります。そして、その変化は地球環境・人間活動に大きな影響を及ぼします。雪や氷の変化、本当はどのようなのだろうか？現在はっきりしていること、はっきりしていないこと、今われわれの知識はどの辺りにあるのか、われわれは何をしなければいけないのかに関し、世界の第一線で雪氷の研究をしている研究者が、地球を旅しながら一般の方でも分かるように発表します。

- 12:30～ 開場
- 13:00-13:05 開会の挨拶(藤井理行・日本雪氷学会会長)
- 13:05-13:20 コンビナー趣旨説明(大畑哲夫・海洋研究開発機構)
- 13:20-13:50 「北極海の海水変動を探る」(榎本浩之・北見工業大学)
- 13:50-14:20 「南極氷床は地球温暖化で融け出している？」(本山秀明・国立極地研究所)
- 14:20-14:30 休憩
- 14:30-15:00 「地球温暖化とヒマラヤの氷河」(上田豊・名古屋大学)
- 15:00-15:30 「日本の雪の変動と雪害」(佐藤篤司・防災科学技術研究所)
- 15:30-15:55 質問時間
- 15:55-16:00 閉会の挨拶(渡辺興亜・総合研究大学院大学)
- 16:00 閉会

問い合わせ：大会ホームページをご覧ください。

URL: <http://www.seppyo.org/st08/lecture.html>

Email: [st08-exec@seppyo.org](mailto:st08-exec@seppyo.org)

主催

(社) 日本雪氷学会



日本雪工学会



崩壊するパタゴニアの氷河の末端

